

林野庁
プレスリリース

12月2日	<2011 国際森林年関連事業>「第1回 国際森林年国内委員会」の開催及び傍聴について
12月7日	<2011 国際森林年関連事業>「国際森林年」に向けた説明・情報交換会の開催について
12月9日	外国資本による森林買収に関する調査の結果について
12月9日	「第46回 国際熱帯木材理事会」の開催について
12月16日	<2011 国際森林年関連事業> ロゴマーク利用の簡素化について
12月17日	鹿野農林水産大臣の国内出張について～「国際生物多様性年クロージング式典」への出席～
12月21日	「第46回 国際熱帯木材理事会」の結果について
12月22日	<2011 国際森林年関係事業>「国際森林年」の国内テーマの決定について
12月27日	「新農林水産省木材利用推進計画」について



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

エコプロダクツ
2010が
開催されました一口メモ
林野庁

12月9日から11日まで、東京ビックサイト(東京都江東区)においてエコプロダクツ2010が開催されました。

9日には、美しい森林(もり)づくり全国推進会議が主催するトークショーが行われました。「国際森林年」に向けて「明日の森を語る」をテーマに、フリーアナウンサーの草野満代氏、東京農業大学教授の宮林茂幸氏及び皆川芳嗣林野庁長官が意見交換をしました。応援にかけつけたグリーンサンタも含め国際森林年に向けて各自の抱負を宣言しました。

また、「森からはじまるエコライフ展」も開催され、イベントに使った間伐材等を再利用した事例が「エコ&デザインブース大賞」を受賞しました。

国際森林年
記念シリーズ①

古来より文明と深く結び付いてきた森林。森林は様々な文化的側面を持っています。そこで、国際森林年記念シリーズとして、森林と結び付きの深い作品等を毎月掲載します。第1回目は絵本です。



(講談社刊)

森の絵本

「森へゆこう」

その声は いいました。

「いちばん だいじなものが 森のなかにある。

きみの いちばん たいせつなものが そこにある」

詩的な文章と森の絵で構成され、大切なものは何か、忘れていけないものは何かを考えさせる絵本です。絵本ですが、大人向けとも言える作品です。